

AAC

AICHI ARTS CENTER

アートを読む、あいちを読む

2017/vol. 91
Spring

愛知芸術文化センター 情報誌

25th

ANNIVERSARY, 1992-2017

AICHI ARTS CENTER

未来を拓く小さな手



子ども鑑賞会レポート

教員と学芸員が連携して企画した小学生向け・中学生向け・高校生向けの鑑賞会が愛知県美術館コレクション展の会場で行われた。小学生向けは「ウォッチ・キャッチ・かたち」と題し、形や色に注目して鑑賞したり、クイズ形式で作品名を想像してみたりと、楽しそう。中学生向けは、ピカソを中心に鑑賞することでキュビズムの手法についても学んだ。鑑賞後はワークショップがあり、作品から受けた刺激も反映させて思い思いの創作に熱中していた。



小学生向け鑑賞プログラムの様子



高校生向け鑑賞プログラムの様子



幼児向け鑑賞プログラムの様子



幼児向け鑑賞プログラムの様子



←学芸員と先生たちの打ち合せ・準備を取材。教員同士で真剣な議論も……



中学生向け鑑賞プログラムの様子



小学生向けのワークショップ。切り抜いた作品は影絵に！



中学生向けのワークショップ。いろんな角度から撮った写真を切り抜いてキュビズムの画面構成を真似てみる。



教育・普及が社会を拓いていく

美術館の活動は、作品の収集、保存、調査・研究、展示、教育・普及の柱から成る。学校の図工や美術の時間とはちょっと違う、美術館の教育・普及の役割や考え方とは？

愛知県美術館の教育・普及活動は多岐にわたる。例えば展示室内を見渡してみると、あちこちに設置されている美術館ガイドやワークシートなどのパンフレット類、鑑賞者が聴いている音声ガイドなどの原稿の作成も業務のひとつ。展示室でのギャラリートークといった対面形式のレクチャーも教育・普及活動の範囲である。また、博物館学芸員資格取得希望の学生を対象に博物館実習を行うことも。そして、なかでも力を注いでいるのが児童・生徒を対象にした教育的プログラムだ。愛知県美術館の藤島美菜主任学芸員（教育・普及担当）は次のように語る。

「学校での美術教育は、制作が中心でも、美術館では鑑賞体験が主体となります。学校団体や子ども向け、視覚に障がいがある子ども向けなど様々な鑑賞会を年間を通じて行っていて、並行して教員向けの研究会や研修会も開いています。参加した教員が鑑賞学習のプランニングをできるファシリテーターになり、教員間で鑑賞学習のノウハウを広めていくことで、学校教育の現場でも制作と鑑賞のバランスが整っていくのではないかと考えています」

実際に美術の専門家になる人は限られている。ただ、美術の愛好家はもっと育成できるはず。「最終的には、子どもたちをはじめ多くの

方々に、いかに美術に親しんでもらうかが課題」と藤島主任学芸員が言う。藤島主任学芸員が言う通り、いちばん気軽な親しみ方である鑑賞、という行為が私たちの生活にとって、もっとも身近になればいい。それはアートの未来、美術館の公共性にも広がっていく。

「昨今では、ユニバーサルミュージアム」という言葉が頻りに言われています。ユニバーサル（＝すべてに共通である、普遍である）の考え方を美術館でも実践して、誰もが美術体験できる、誰もが楽しんで共有できる場になっていくことが必要とされているんです。そうした理想的なミュージアムを目指し、地域で活動する教員やボランティアなどの力を借りて、ひとつひとつを積み重ねていく日々です」



ボランティアが立体コピーで作品を説明

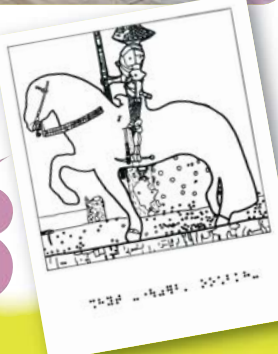
視覚障がい者向けプログラム

視覚障がい者の美術ガイド活動支援の草分けである公益財団法人 名古屋YWCAのボランティアの協力も得て、愛知県美術館では1997年度から「視覚障がい者向けプログラム」に取り組んできた。また、あいちトリエンナーレ2016でもガイドのトークと立体コピーを使ったプログラムを実施。このような取り組みは、これからのユニバーサル・ミュージアムのひとつの指針となるものだ。誰もが美術という人類の財産を体感することで共生の意識も育まれる。



→立体コピー
グスタフ・クリムト
《人生は戦いなり
（黄金の騎士）》
1903年 愛知県美術館

紙面から、1mm程度の盛り上がりによる輪郭線で図柄を表現。



education

所蔵品に親しめる「あいパック」

愛知県美術館では県内の教員の協力のもと「あいパック」を作成した。これは、所蔵品から40点を選び、ポスター・アートカード・学習指導例・ワークシートなどの一式にした鑑賞学習補助ツール。県内の小・中学校に限定配布され、教育現場の鑑賞学習に生かされている。



→普段は触れることのできない立体作品の素材、ブロンズ・鉄・鉛・ステンレス・アクリル樹脂・石膏・樟・ヒノキ・ケヤキ・桐を詰め込んだ「素材ボックス」。重量や質感の違いを感じることができる。

←「色カード」と、言葉の「感じカード」から成る「びびりカード」。カードを使って、教室でも展示室でもゲームができる。



2000年に誕生したボワワン。美術を楽しくガイドする子ども向けビデオ（美術館ビデオテークで視聴可）にも登場している。





レリーフ(フラワー)
石本藤雄 / 2009年 / スコープ蔵 ©Fujiwo Ishimoto

ヘルシンキを拠点とする石本藤雄(1941-)は、1974年から2006年までマリメッコ社のテキスタイルデザイナーとして活躍。1989年からは並行して、フィンランドを代表する陶磁器メーカー、アラビアで陶芸作品を制作。工場で生産したり、職人に託したりせず、石本が一点一点を手がけている。

テーブルウェア《キルタ》シリーズ
カイ・フランク / 1953年 / アラビア
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵
©Designmuseo

陶磁器、ガラス器を多く手がけたカイ・フランク(1911-89)の代表作。シンプルなデザインはどんな料理にも使い、サラダ用、肉料理用など用途が決まっていたそれまでの食器の常識を覆した。大量生産ができてリーズナブル、加えて使いやすいという機能美は「フィンランドの良心」と呼ばれている。



おしゃれなだけじゃない 暮らしに寄り添う フィンランド・デザインの魅力

近年、女性を中心に人気を集めている北欧デザイン。そのポップで明るい色づかいやシンプルな形を、ソファカバーやマグカップに取り入れるだけで、部屋の中はぐっと洗練され、楽しい気分になる。そんな北欧デザインの中でも、ムーミングッズやマリメッコのファブリック、アラビアの食器でおなじみのフィンランド・デザイン。その100年の歩みを展覧する展覧会が、愛知県美術館で開催される。これはフィンランド独立100周年を記念して行われる展覧会で、独立以前の装飾芸術から現在活躍するデザイナーの作品まで、約700点が紹介される。北欧デザインという、おしゃれなインテリアや雑貨を思い浮かべがちだが、機能的で使い勝手を重視した色づかいや形がフィンランド・デザインの特徴。なんとなくおしゃれではなく、使う人の毎日の暮らしに寄り添うようにデザインされた機能美が、結果的におしゃれに感じられる。

出品作品の一部については、同じタイプの椅子に座ることもできるので、実際に使ってフィンランド・デザインの機能美を体感できるのも、この展覧会の魅力のひとつ。フィンランド・デザインの歴史や特徴を理解すると共に、優れたデザインが私たちの暮らしを彩り、豊かな感性を育むことをぜひ感じていただきたい。

取材・文：田中由紀子

フィンランド・デザインが愛される理由

鮮やかな色づかい

厳しい寒さが続く冬の間、家の中で過ごすことが多いフィンランドの人々。カラフルで暖かな色づかいは、薄暗い家の中を彩り、生活を楽しくする発想から生まれた。

シンプルで安価で機能的

装飾を省いた簡素なデザインは、用途を選ばず、長く使い続けられ、スタッキングできるなど機能性に優れる。工場での大量生産が可能なので、買い求めやすい価格も◎。

豊かな自然がモチーフ

国土の3分の2が森林で、約19万カ所とも言われる湖が国土の約1割を占める、「森と湖の国」フィンランド。植物や動物、水や氷など豊かな自然がデザインの源泉となっている。



オブジェ《バード》
オイバトイッカ / イッタラ フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵
©Designmuseo Photo:Chikako Harada



椅子《バビー》
エーロ・アールニオ / 2003年 個人蔵 ©Eero Aarnio



ポスター《サイマーワモンアザラシ》
(自然保護協会のポスター)
エーリック・ブルーン / 1974年 作家蔵
©Eric Bruun

フィンランド独立100周年記念

フィンランド・デザイン展

2017年4月7日(金)~5月28日(日)

愛知県美術館

10:00~18:00 ※金曜日は20:00まで (入館は閉館の30分前まで)

休館日:毎週月曜日

一般1,200円 高校・大学生900円 ※前売・団体は各200円引き。 ※中学生以下は無料。



椅子《スツール 60》
アルヴァ・アアルト / 1933年 / アルテック ©Artek

アアルトが設計したヴィープリ図書館の内装にも使われたスツール。極限まで無駄を削ぎ落とした3本脚のフォルムは、不朽の名作と称され、いまなお世界中で愛されている。形はシンプルだが、座面シートの色に豊富なバリエーションがある。積み重ねて収納できるなど、機能性も高い。



椅子《41 アームチェア バイミオ》
アルヴァ・アアルト / 1931-1932年 / アルテック 個人蔵 ©Artek

フィンランドを代表する建築家であり、家具やガラス器のデザイナーとしても知られるアルヴァ・アアルト(1898-1976)の出世作。彼が設計したバイミオ サナトリウムの結核患者のためにつくられた椅子で、腰掛けた時に呼吸が楽になるよう背もたれの角度が計算されている。国内に豊富なバーチ材を材料とし、その有機的なデザインと大量生産可能な技術は、アアルトを家具デザイナーとしても一躍有名にした。アアルトが開発したといわれる木目を同一方向に揃える成形合板の技術「ラメラ曲げ木」による脚部の曲線が美しい。



無印良品のオンラインストア等で、アルテックの「E60 スツール」の特別仕様「バーチ材スツール(E60)」が購入できる。「本当に良いもの(=アアルトの想いと技術を象徴する製品)を、日本の家庭に普及させる」という両社の想いからコラボレーションに至った。



本展のミュージアムショップでは、家具店やインテリアショップで取り扱う出品デザイナーによる椅子や食器などが販売される。ぜひ覗いて、フィンランド・デザインを暮らしに取り入れ、その魅力を体感していただきたい。

オルガニストがふたりも!? 男女実力者がバッハ企画で華やかに競演

2016年度は、愛知県芸術劇場オルガンカレイドスコープ「THE バッハ」と銘打った企画を通じ、オルガンの代名詞的な作曲家ヨハン・ゼバスティアン・バッハを再検証してきた。その第3弾でありラストを飾る公演がスプリングオルガンコンサート。締め込にふさわしく、全3公演のうち最もバッハの曲数は多い。また、オルガニストとして近藤岳、勝山雅世の両人が揃い踏みするという趣向も新鮮だ。

「オルガニストをふたり迎えるコンサートは、当劇場の主催事業では初めてですね。近藤さんも勝山さんもお付き合いが長いので私たちのホールやオルガンのことをよくご存知ですし、実力者でもある。男性と女性なので演奏に対照的なところがある一方、共通する力強さ、ダイナミックさもあって、いい顔合わせだと思うんです」と水野学プロデューサー。

から前半は明るくゆったりとした曲が続き、春らしき満開。後半に入るとソプラノの松井亜希も加わって歌とオルガンの共演があり、ますます舞台は華やかに。そしてTVやCM、舞台などで幅広く活躍する堀尾雅彦のナレーションも入り、バッハにまつわるエピソードを親しみやすく紹介してくれる。

もちろん全編にわたって近藤、勝山のソロがあり、オルガン競演としても面白い。特に、勝山が演奏するバッハ「前奏曲とフーガ ホ長調」、近藤のリスト「バッハの名による幻想曲とフーガ」には圧倒されること必至。水野プロデューサーも「終盤へ向かって、徐々に春の活力がみなぎっていく構成になっているので、そのあたりも感じていただけたら嬉しいですね」と語っている。

Spring Organ Concert



近藤岳
Photo: 青柳聡



勝山雅世



堀尾雅彦



松井亜希

Program

- J.S. バッハ—
- 管弦楽組曲 第3番 二長調 BWV1068 より 第3曲 ガヴオット ★*
 - ピエス・ドルグ(幻想曲)ト長調 BWV572 ★
 - 18のライブツィヒ・コラール より 〈バビロンの流れのほとりに〉BWV653b *
 - 前奏曲とフーガ ホ長調 BWV566 *
 - 〈コーヒー・カンタータ〉BWV211 より 第3曲 ◆*
 - カンタータ 第82番〈われは満ちたれり〉BWV82 より 第2曲、第3曲 ◆★
 - カンタータ 第29番〈神よ、われら汝に感謝す〉BWV29 より—シンフォニア(デュプレ編)*
 - グリニティエルス・アン・タイユのレシ ★
 - ヴィドール:〈バッハの思い出〉より「マタイ受難曲—終曲」★
 - リスト:バッハの名による幻想曲とフーガ ★
- ★=オルガン(近藤) * =オルガン(勝山) ◆=ソプラノ

スプリング オルガンコンサート
～拝啓、ヨハン・ゼバスティアン・バッハ様～
3月30日(木) 19:00
愛知県芸術劇場コンサートホール
全席指定1000円(学生500円)
※学生料金は25歳以下対象(要証明書)。
※未就学のお子様は入場できません。

今回のオルガニストは二名。繊密さ・繊細さが持ち味の近藤さん、ダイナミックな演奏の勝山さんの聴き比べは、乙な楽しみ方ではないでしょうか。公演前日に実施するパイプオルガン演奏体験の指導でも、ふたりの指導に個性が表れそうです。(舞台技術グループ:井戸亜由巳)

世界中がうらやむスペシヤルな2DAYS! レジエントが名作を自ら踊り、最新作を日本初演

世界中からオファーが殺到して止まないダンスカンパニー、ローザスが再びやってくる! あいちトリエンナーレ2010以来7年ぶり。東京と愛知のみの公演が実現するのは、トリエンナーレで当地に親しみをもってくれたおかげなので、ますます嬉しい再会だ。

演目も舞踊ファン垂涎、ぜいたくな2作品に決定した。まずは芸術監督アンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケルが1982年に発表した「ファーズ-FASE」。ローザス結成につながった記念碑的作品であり、今なおコンテンポラリーダンスの金字塔と讃えられている。少女を思わす可憐さや凛とした強さを見せたかと思えば、大人の女性の色気

や知性も……。双方を行き来するような世界が観る者の心を鷲づかみする。しかも今回、舞踊界のレジエントであるケースマイケル自身が踊るといふ興奮を抑えられない。

もうひとつの「時の渦-Vortex Temporum」は、長年深い関係を築いてきた現代音楽アンサンブルのイクトウスと2013年に発表したコラボレーション最新作で、本邦初公開。イクトウスとローザスが同じ舞台上で共演し、フランスの作曲家ジェラルド・グレイゼーの現代音楽を大胆に視覚化する。

2日に分けて名作と最新作を体験できる機会。チケット争奪戦が予想されることもあり、セット券がオススメですよ!!



「時の渦-Vortex Temporum」 ©Herman Sorgeloos

絵理のイチオシ
ケースマイケルは音楽を分析し、視覚化するように振り付けします。それを最もクリアに発揮した作品のひとつが「ファーズ」です。身体のパーツと動きが音の質感やリズムを明確に表すので、観客はきつこスアージにシンクロするような心地よさを感じますよ。ミマルミュージックの巨匠ステイヴ・ライヒの作品4曲を使用しているんですが、ライヒの音楽をまた別の視点から理解できる点でも面白いですね。一方「時の渦」は、指揮者を含む7名の音楽家と7名のダンサーが互いに呼応する趣向になっています。音楽とダンスが対等に展開されます。今回、ローザスの原点となる「ファーズ」とリアルタイムの魅力にあふれる「時の渦」両方を通じて、ダンスの見方の幅を感じていただけるんじゃないかと思っています。



愛知県芸術劇場プロデューサー 唐津絵理



アンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケル
Photo: Hugo Glendinning

ダンス界に輝き続けるミュージズ
ベルギーの振付家・ダンサーであるアンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケルは、20世紀が生んだ最も重要な舞踊家のひとり。モーリス・ベジャールが創設した舞台芸術学校Mudra、ニューヨーク大学で学び、1983年、4人の女性ダンサーから成る「ローザス」を結成。舞踊史を塗り替えてきた。取り上げてきた音楽はバッハやモーツァルト、バルトーク、スティヴ・ライヒ、マイルス・デイヴィス、ジョン・コルトレーン、インド古典音楽ほか多彩。音楽を数学のごとく分析した振付は抽象的ゆえにダンサーの個性が際立ち、熱狂的ファンが後を絶たない。

ROSAS

ローザス 「ファーズ-FASE」
5月10日(水) 19:00
名古屋市芸術創造センター
共催:公益財団法人名古屋市文化振興事業団
全席指定5500円 U25 2500円

ローザス&イクトウス 「時の渦-Vortex Temporum」
5月13日(土) 15:00
愛知県芸術劇場大ホール
S席5500円 A席3500円 U25 2500円
車椅子席3500円 チャレンジシート1000円

※「ファーズ」と「時の渦(S席)」のセット券9000円あり。
※U25は25歳以下対象(要証明書)。
※未就学のお子様は入場できません。
※チャレンジシートは公演当日10:00～、愛知芸術文化センター内プレイガイドでのみ販売(予約不可・購入枚数制限あり)。

「ファーズ-FASE」は名古屋市文化振興事業団との共催。会場は愛知県芸術劇場から徒歩で約15分の、名古屋市芸術創造センターです。公演を通してノウハウが交換でき、仲間が増えるのは心強いことです。これもローザスのおかげなのかも!? (プロデューサー:加藤愛)





Photo: 野村正則

日生劇場ファミリーフェスティバル2017
不思議の国のアリスのクラシックコンサート
「ベートーヴェンと行くアリスのおんがく旅行」
7月29日(土) 愛知県芸術劇場大ホール

幼児から鑑賞できるクラシックコンサートのシリーズも3年目。今回は、誰もが一度は聴いたことのあるクラシックの名曲などを旅するように味わえるプログラムだ。もうすっかり人気者になった“不思議の国のアリス”と仲間たちが歌ったり踊ったりしながら、会場みんなを物語の世界にナビゲート。しかも舞台上にはベートーヴェン自身まで登場して……!? この役をテレビドラマでもおなじみの俳優・長谷川初範が演じるので楽しみに。



過去の大ホール観覧会より

劇場探検ツアー
8月3日(木) 愛知県芸術劇場大ホール

おなじみジョニー隊長&ジョニー副隊長の案内によって、普段は見られない劇場の裏側にまで潜入できる大好評ツアー。今回は、数々のオペラ、バレエ、ミュージカルの舞台となる大ホールを探検する。2500席、3面舞台というオペラハウス仕様のホールは、世界的にも最大級。愛知県芸術劇場が誇る大空間の迫力を感じてもらえるはずだ。なお、劇場について学ぶだけでなく記念となるサプライズなどもあるので、ぜひ奮ってご参加を!!



昨年度の様子 Photo: 中川幸作

THE オルガンDAY 2017
7月27日(木) 愛知県芸術劇場コンサートホール

料金500円・公演時間45分という気軽なスタイルでオルガンに親しめるコンサート。午前は幼児向け、午後は子ども向けで開催し、お子さま連れでも気兼ねなく楽しんでもらえる。本格オルガン曲あり、耳なじみのスタンダードナンバーありで、合間にはオルガニストによる解説も。なお、前日の26日(水)夜には、会社帰りに立ち寄れることでビギナーからツウにまで好評の「THE オルガンNIGHT」を開催。500円・45分の同じスタイルで、公演後には鍵盤などを間近に見ることができる見学会もあります!

好評! ファミリー・プログラム

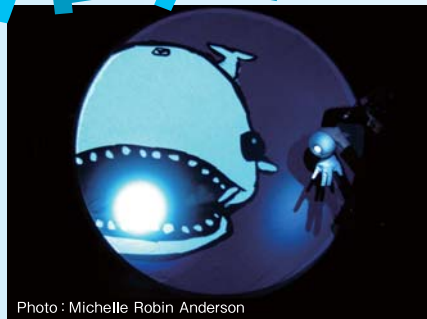


Photo: Michelle Robin Anderson

THE LAST GREAT HUNT
「アルヴィン・スプートニクの深海探検」
7月31日(月)・8月1日(火)
愛知県芸術劇場大ホール

昨年「It's Dark Outside おうちにかえろう」で愛知県芸術劇場に登場したオーストラリアのカンパニー「THE LAST GREAT HUNT」が、この夏に帰ってくる。クリエイター／パフォーマーのティム・ワッツが中心となり、人形劇やアニメーション映像、舞台美術などを自在に織り交ぜたライブ・パフォーマンスは“魔法”と称されるほど幻想的。今回は、彼らを世界に知らしめた2009年の代表作「アルヴィン・スプートニクの深海探検」を大ホールで上演する。

R・シュトラウス作曲
オペラ「ばらの騎士」
(全3幕・ドイツ語上演)
10月28日(土)・29日(日)
愛知県芸術劇場大ホール

愛知県芸術劇場と東京二期会らが手を組み、オペラ「ばらの騎士」を上演する。日本では上演機会が少ないだけに、このチャンスをお見逃しなく。R・シュトラウスと言えば交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」を思い出す人も多いだろうが、本作ではドイツ・ロマン派の香り漂う作風で聴衆を魅了すること間違いなし。年上の女性と年相応の女性、ふたりの間で揺れる貴公子の物語には、おかしさの果てにホロ苦さもある。なお、演出は2014年の英グラインドボーン音楽祭で初演されたりチャード・ジョーンズによるもの。伝統的でありながら、どこかモダンでもある舞台美術とともに鮮烈な印象を残したステージの日本初披露だ。



写真提供: グラインドボーン音楽祭 ©Glyndebourne Productions Ltd. Photo Bill Cooper

話題作イチ早情報!!! Hot News

先にご紹介したスプリング オルガンコンサートやローザス以外にも、愛知県芸術劇場の公演には話題作から好評企画までが目白押しだ。今からチェックして、鑑賞計画2017を作成すべし!



藤原歌劇団公演
マスネ作曲
オペラ「ナヴァラの娘」(日本初演)
レオンカヴァッロ作曲
オペラ「道化師」
2018年2月4日(日)
愛知県芸術劇場大ホール

「カルメン」の興奮も冷めやらぬなか、早くも藤原歌劇団の愛知公演が決定。今回は2本立てという趣向だ。まず1本目は「カルメン」と同じくフランス物から、マスネ作曲「ナヴァラの娘」。ナヴァラの娘アニタが愛する士官アラキルのために犯した行為が悲劇を招く。もうひとつのレオンカヴァッロ作曲「道化師」は比較のおなじみの2幕物。旅芝居一座が登場するため劇中劇があり、入れ子構造ゆえドラマに混乱が生じていく。ちなみに、「道化師」は「ヴェリズモ・オペラ」と呼ばれ、ちまたの人々に残酷な運命が襲い掛かるところが大きな特色。なお、指揮は柴田真郁、演出はマルコ・ガンディーニ。



Photo: Gadi Dagon

バットシェバ舞踊団／オハッド・ナハリ
「LAST WORK—ラストワーク」
11月3日(金・祝) 愛知県芸術劇場大ホール

歴史的・政治的困難にさらされながらも、力強く豊かで、生きる喜びさえ感じさせてくれるイスラエルのダンスカンパニー、バットシェバ舞踊団が最新作「LAST WORK—ラストワーク」を携えて来日する。題名が暗示する通り、いつにも増して社会と向き合った渾身のステージ。鬼オハッド・ナハリによる象徴的な振付・演出には本国内外の視点がうかがえ、芸術の当事者性が如実に浮かび上がる。世界中からイスラエル留学を志すダンサーは後を絶たず、厳しい環境がダンスシーンの豊穡につながっている現在。もはや一国の問題ではなく、誰もが抱える葛藤なのだとして……、そこから目をそらすことはできない!



宮城聡 Photo: 新良太



北村想



2016年ゲスト出演者: 伊東篤宏 Photo: 羽鳥直志

愛知県芸術劇場・SPAC(静岡県舞台芸術センター)共同企画

「寿歌(ほぎうた)」

2018年3月24日(土)~26日(月)

演出家・宮城聡が芸術監督を務めるSPAC(静岡舞台芸術センター)と愛知県芸術劇場の共同制作で演劇史的にも重要な名作「寿歌」を上演する。この戯曲は名古屋在住の北村想が1979年に発表。核戦争後の未来を舞台に男女の芸人と謎の青年が出会い、奇妙な会話が開演される。北村の「明るい虚無」を、俊英・宮城が現代にどう提示するか、全国から注目が集まる。

サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2018

2018年2月10日(土)・12日(月・休)

音を核としたステージであれば何でもOK。コンサートという概念に収まらない新たな表現や前衛作品を紹介する恒例企画。身体性の強いパフォーマンスや映像が入る作品も多く見応え十分。公募で選ばれた新進気鋭たちと日替わりゲストの大競演としても面白い。進化する鑑賞法の多様性にも対応していくので、観客を巻き込んだ実験に拍車が掛かる!



平山素子 Photo: Yutaka Mori



加藤訓子 Photo: Ichiyuki Ohba

加藤訓子×平山素子「DOPE」

2018年1月26日(金)~28日(日)

パーカッションの加藤訓子とコンテンポラリーダンスの平山素子がコラボレーションを敢行する。サイトウキネンオーケストラや6ページ

で紹介したイクトウスなどで活動してきた加藤。昨秋はスペインツアーを成功させ、積水ハウスのCMでも話題を集める平山。共に愛知県出身、国内外で高い評価を得るふたりが向き合うことで生まれる作品は、美しくも激しいものに……!!

トガった精神の発露!?

Mini Theater Selection

愛知県芸術劇場小ホールを会場に、最先端&最前衛のステージをお届けする「Mini Theater Selection」、略して「ミニセレ」にも注目の企画が続々と。トガった精神を受け止めるか、ユルく楽しむか? あなたの感性に挑みます!

TOPIC

「あrika」が各地へお邪魔します!



Photo: 羽鳥直志

愛知県芸術劇場のプロデュースで2016年4月に初演された「あrika」は、コンテンポラリーダンサーの島地保武とラッパーの環ROYが真剣勝負のごとく繰り広げたオリジナル作品。時にユーモラスで時にリリカル、圧倒的にカッコイイふたりのコラボレーションは大評判を呼んだ。そんなステージが2017年1月の豊川公演を経て、この秋ついにツアーへと飛び出す。もう一度観たかった人も、未体験の人も、アノ興奮をぜひ!

ダンスとラップ〜島地保武×環ROY「あrika」

Schedule

9月15日(金)・16日(土) — 春日井市民会館
9月18日(月・祝) — パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)ほか



三輪真弘



前田真二郎

三輪真弘×前田真二郎
モノログ・オペラ「新しい時代」
12月8日(金)・9日(土)

作曲・脚本・コンピュータプログラミングを三輪真弘が、演出・映像を前田真二郎が手掛け、出演はソプラノ歌手がひとりのみ。独白形式のオペラとして2000年に発表された「新しい時代」が愛知で初上演される。人間と機械の境界を見つめつつ、神戸連続児童殺害事件やオウム真理教事件といった1990年代の社会問題を暗示させる内容は今も鋭く、衝撃的だ。



プロジェクト大山「大山曼陀羅-オオヤマンドラー」
11月10日(金)・11日(土)

古家優里を中心にお茶の水女子大学OGで結成されたプロジェクト大山は、今まさに旬のダンスカンパニー。コンドルズの主宰・近藤良平に始まり、狂言師の野村萬斎、劇作家・演出家のケラリーノ・サンドロヴィッチ、アコーディオニスト・作曲家のcobaら多彩なアーティストからも支持を受ける。彼女たちが結成10周年を記念して創作する名作集を携え、いよいよ愛知初登場!



第15回AAF戯曲賞受賞記念公演「みちゆき」より Photo: 羽鳥直志

第16回AAF戯曲賞受賞記念公演
「それからの街」
10月21日(土)~23日(月)

応募91作品の中から昨年12月の公開審査会で第16回AAF戯曲賞大賞に輝いた額田大志の戯曲「それからの街」が、審査員でもある演出家・鳴海康平の演出で上演される。街のイメージが受け手それぞれの中で広がっていく感触や、ミニマルミュージックに通じる“音楽性”を持ったユニークな作品。どう立ち上がり、響いてくるか楽しみ。

「新しい時代」の一部分は、98年「現代音楽家シリーズ」(於:愛知芸術文化センターアートスペースA)で初演されました。その作品をこうして上演できるのは感慨ひとしお。当時の演奏をお聴きになった方、いらっしゃいますか? (プロデューサー: 藤井明子)

今回の「寿歌」は宮城さんから「愛知との企画であれば是非、北村想さんの作品を演出したい」という熱い言葉があり実現しました。世界から注目されるSPAC(静岡舞台芸術センター)との共同企画、是非注目ください! (プロデューサー: 山本妻子)

～表現を支える現場レポート～



左から松村豊重さん、大橋淳子さん

80周年はアニバーサリーであり通過点

1937年(昭和12年)オープンの東山動植物園が今年で開園80周年を迎える。いまや全国のファンに親しまれる「大パーク」の現在はどんな状況にあるのか。記念事業の準備が急ピッチで進む2月、現場のおふたりに話をうかがった。

東山動植物園では昨年度の入園者数258万人と、過去20年で最高を記録した。これは東京の上野動物園に次ぐ全国2位。80周年に向けての努力に様々な幸運も重なった。

「70周年以降は微増だった入園者数が、昨年度は前年から30万人も増えたんですよ。飲食物販施設のリニューアルや暖冬のおかげもあるんですが、やはり、シャバーニの影響は大きいですね」

そう笑顔で語るのは、管理課業務係長の松村豊重さん。イケメンとして大反響を呼んだニシローランドゴリラのシャバーニは現在、ソウヤコアラをしのぐほどの人気者。これは思いがけない展開だったそうだ。

「シャバーニのことをSNSで『イケメン』と書いてくださった方がいて、ひとりでも広まっていったようです」その後、サッカーの大久保嘉人選手も共感したことで関東方面から

も人気に火がついたり、欧米のメディアから取材を受けたりして、ますます話題拡散。写真集が発売されると全国から取材が殺到した。「昨年は申年だったのでCMオフアームが多かったですよ。ゴリラはサル仲間ではないんですけどね(苦笑)。いろんなことが重なった結果のシャバーニ現象ですが、人気は衰え知らず。むしろカッコよくなっています(笑)。最近では、イクメンでも知られ、貫録さえ感じさせますね。また、外に出てくるタイミングがいんですよ。『役者だな』と思います(笑)」

こりゃ、愛知県芸術劇場にも出演してもらわねば!? そんな冗談を語り合えるのも、大きな試練を乗り越えたから。この冬は鳥インフルエンザという未曾有の出来事に遭遇した。

「こんなに長い休園は戦時中以来だったかもしれません。防疫対策や報道発表など大変ではありませんが、多くの方々に心配いただき、また励まされ、あらためて愛されていることを再認識する出来事にもなりましたよね。本当に勇気づけられました」

なお、動物園のお休み中も営業していた植物園。日頃からテーマを設けた企画を実施しているが、指導園芸係長・大橋淳子さんは来園者の滞在が課題だと言う。

「植物を長時間ジッと観る人は少ないですよ。動植物園は気軽に観てもらいたい。学術的に観てもらいたい。でも博物館法の精神に基づいた施設として教育にも力を入れなければいけないので、少しでも立ち止まってもらえる工夫に努めています」



イケメン! ゴリラのシャバーニ

「植物を長時間ジッと観る人は少ないですよ。動植物園は気軽に観てもらいたい。学術的に観てもらいたい。でも博物館法の精神に基づいた施設として教育にも力を入れなければいけないので、少しでも立ち止まってもらえる工夫に努めています」

園の重要文化財である温室の前館は保存修理中中だが、後館では「タイル植物園」展やベンケイチュウの植え込みイベントを行う。また、記念事業の一環で植物園にもターザンロープや木製迷路などの遊具が登場。園内全体がお祝いムード「動物や植物を撮影して、自分だけの図鑑」が作れるアプリを開発したり、回遊性のある企画をたくさん用意して何回も来なくなる演出をしています。また、より幅広い来園者に満足いただけるように飲食店や土産類も充実しています。すべては80周年に向けて準備してきましたが、東山動植物園再生プランの目指す先は100周年。今はまだ2ステップ目なんです」

Check!



コアラ舎の壁面を飾るレリーフ。作者は愛知の超有名人……。知ってる? 答えは左ページ欄外に!

体験! 仰天! 東山! みんなで回ろう、何度も行こう!

リニューアル&スペシャル企画

Higashiyama 80th

3月18日(土)、東山動植物園開園80周年記念事業がスタートする。改修を経てリニューアルする施設もあれば、6月4日(日)までの会期中だけ行われる特別イベントも。その一部をご紹介します!



在りし日のチー(アフリカゾウ/オス)

びよんびよんユキヒョウ

高山に生息するユキヒョウがジャンプして上下する姿を下から覗ける。オシッコが掛かるかもしれないスリルも、また楽しい!

甦ったぞおアフリカゾウ

かつて飼育されていたオスのアフリカゾウの骨を標本化。陸上最大の動物を“全身骨格標本”にして公開する。

動物大好き、愛知県芸術劇場広報担当・小出充訓です!

動物園 Zoo



恐竜像&広場

オープン1年目に設置された恐竜像を補修・補強。同園を見守ってきたモニュメントが家族何世代にもわたる思い出となるよう、新たにお目見えする。

お宝公開!!!



ターヘル・アナトミア

シーボルトと伊藤圭介展

「解体新書」の原書「ターヘル・アナトミア」が東山植物園にあったなんて! 日本に4冊しか現存しないお宝を公開。所蔵の経緯に関わる名古屋出身の理学博士・伊藤圭介、そして彼の師でもあったドイツの医師シーボルト。ふたりの業績を秘蔵品とともに解説する。

植物でアートする!

植物園ではアートを通じて植物に親しむ企画も。ひとつは中村裕太による「タイル植物園」。当地の粘土層から採れた土をベースに、様々な熱帯植物の灰を各々調合した釉薬を塗って、タイルを制作。ステンドグラス風に展示する。「植物が死んでも、他のものになって生き返り輝く、命のリサイクルを感じていただければ」と大橋さん。また、近藤令子と松村淳子のユニット「フジマツ」は、「植物のひみつ展」にあわせて「なかにわ」を創出するインスタレーションを展開。カッティングシートを使って花などを作り、参加者とともに空間を造形していく。



作品、展示イメージ

タイル植物園 3月22日(水)~6月4日(日) 植物園 温室後館

植物のひみつ展 3月7日(火)~20日(月・祝) 植物会館 展示室

植物園 Botanical Gardens

子ども大人も楽しい植物園、勉強になります!

木ままな迷路

植物や東山の歴史を楽しみながら学べる木製の迷路が出現。間伐材を利用しているので、人にも地球にも温かく優しい。



Check!

おなじみ東山の森の妖精「ズーボ」に遭遇! 木で作られたチューンソーアートなんだとか。



東山動植物園

住所: 名古屋市千種区東山元町3-70

交通: 地下鉄「東山公園」駅より徒歩3分

地下鉄「星が丘」駅より徒歩7分

休園日: 月曜日(国民の祝日または振替

休日の場合はその翌日)

※3/27・4/3・4/10・5/1は臨時開園。

詳しくは [東山動植物園](#)

「洋画」のおもしろさを もっと知ってもらうためには？

大谷省吾（東京国立近代美術館美術課長）

「洋画」という言葉についての 素朴な問いかけをタイト ルとしたこの展覧会。しかしこの問 いが、どれくらい一般の人々の関心を ひいたか気がかりである。というの も、ここで扱われている洋画そのもの が、近年、人々の関心から急速に 外れていっているような気がしてな らないからだ。例えば昨年各地で開 かれた展覧会を思い返すと、若冲 展あるいはルノワール展やダリ展な どの盛況ぶりばかりが目立つ。つま り日本の古いものと西洋近代に人 気が集中しており、それに比べると 洋画の展覧会はいずれもきわめて 寂しいのだ。しかし、集客が見込め ないからといって開催を敬遠してい ては、忘却をますます助長させる悪 循環となってしまう。ピンチだから こそ、美術館は意識的に、洋画のお もしろさを改めて見直す企画に取り 組むべきであろう。みんなが好き な日本の伝統と、西洋の近代の、そ の両方の価値観がせめぎあっている ところに、日本の近代洋画のおもしろ さはあるはずなのだから。この規 模で洋画の流れをきちんと辿れる コレクションを持つ美術館は、実は



そうそうない。だからこそ、これか
ら折にふれて、さらに大胆な切り
口で、洋画を今日の視点から価値づ
ける企画を見せていただきたい。こ
れは私の勤務する美術館の課題で
もある。

コレクション企画
「日本で洋画、どこまで洋画？」
— 高橋由一から現代画家まで —
2016年11月18日～12月18日
愛知県美術館

劇場で生まれる、 音・身体・映像の幸福な融合

齊藤あきこ（ライター・エディター）

愛知 知県芸術劇場が面白いこ とをやっているねという話を 「Twitter」で見かけるようになった。

環ROYと島地保武の「ありか」な
ど、東京からわざわざ見に行きた
くなる演目が行われている。そん
な先鋭的なプログラムのひとつが、
現代音楽をテクノロジーとダンス
で表現し更新する「ONMYAKU
2016」だった。ピアニスト・中川賢が
超絶技巧でライヒやフェラーリの難
曲を高らかに奏で、白井剛がその音
が見えるかのように舞えば、堀井哲
史はピアニストが鍵盤を叩くデータ
や、踊り手の身体に装着したデバイ
スから取得した動きのデータによっ
て変化する、ダイナミックな映像で
応える。この三者の表現の拮抗が、
すべてこの場で生み出されていると
いうことが信じられないほどの融合
だった。普段我々が見ている映像は、
あらかじめ造られたものが再生さ
れることが多いのだが、堀井が取り
組むコンピュータプログラムによっ
て生成される映像は、その常識を
覆す。既存の音楽の常識から解き
放たれた現代音楽が、スタイルをも
たない現代舞踊によって視覚化され、



Photo: 羽鳥直志

そして映像となって劇場そのもの
を大きく包み込む。観客はただ、劇
場のやわらかいシートに身をうず
め、この幸福な聴覚と視覚の刺激
を愉しめばいい。そこに行かなけれ
ば体験することができない、この幸
福な時間のために、人は劇場に向か
うのである。

ON-MYAKU 2016
— see/do/be tone —
2016年11月6日
愛知県芸術劇場コンサートホール



「ON-MYAKU」は「ダンス・コンサートシリーズ」と銘打った試みでした。来年度は大ホールで、ローザとイクトウスによる「時の渦」があります。ダンスと音楽の深〜い関係、これからも探っていきますよ。（企画制作グループ：村松里実）



1月、東京にて行われた表彰式の様子

TOPIC 愛知芸術文化センターが 平成28年度地域創造大賞 (総務大臣賞)受賞



愛知芸術文化センターが一般
財団法人地域創造の主催する平
成28年度地域創造大賞(総務大臣
賞)を受賞。表彰式には、セン
ター長の青木幹晴らが出席した。
文化・芸術の振興による創造
性豊かな地域づくりを活動目
的とする地域創造は、平成16年
度に「地域創造大賞(総務大臣
賞)」を創設。創造的・文化的な
表現活動のための環境づくりに
特に功績のあった公立文化施設
を顕彰し、全国で紹介すること
で、公立文化施設のさらなる活
性を図ってきた。

今回の当センター受賞理由に
は「年間180万人が訪れる愛知
県の文化振興の一大拠点として、
美術展、映像事業、オペラからコ
ンサートやコンテンポラリーダン
スまでカバーする舞台芸術公演
など、多彩なプログラムを提供」
「国際芸術祭『あいちトリエンナ
ーレ』の担い手となるなど、都市
文化の活性化に貢献」の2点が
挙げられている。これは、日々の
地道な活動と起爆剤となるお祭
りづくりの両面が評価されたとい
うことであり、関わるスタッフ
すべてにとって嬉しく誇らしい受
賞となった。

REPORT 万が一の事態に備え、 テロ対策訓練& 消防避難訓練を実施



去る1月、
当センターで
は初めてのテ
ロ対策訓練が行われた。仏パリで
コンサートホール襲撃事件が起き
て以降、不特定多数の人々が集
まるソフトターゲットを狙ったテ
ロへの対策は、世界中の文化・芸
術施設にとって大きな課題とな
っている。そこで今回、愛知県警
察本部・東警察署とともに訓練
を実施した。
想定として、公演当日の爆破
予告から開始。東署に通報後、
警察と劇場職員が館内を調べ、
愛知県芸術劇場コンサートホー
ルで不審物を発見。観客をホー
ルの外へ誘導する。それから機動
隊爆発物処理班が防護服姿で出
動。小型ロボットを使って不審物
を専用容器に回収した。
なお、職員や興行主催者のほ
か県内外の劇場関係者も見学に
訪れ、200人以上が参加。同日
には消防避難訓練もあり、コン
サートホール入口で火災が発生し
たという想定のもと、車いすの
来場者を非常用エレベーターで
避難誘導。ふたつの訓練を通し
て、施設・主催者・警察・消防のス
ムーズな連携が利用者全体の安
全につながることを確認しあった。

編集後記

今号の「おでかけAAC」では、今年80周年を迎える東山動植物園さんにお話を伺いました。名古屋生まれの私にとっては、キリン舎の前で親と撮った写真、友人たちと見に行ったコアア、デートで乗ったスワンボート(笑)……、すべてが身近な存在でした。そんな私も親となり、子どもと一緒にゴリラやゾウに大興奮! 今も昔も楽しい思い出がいっぱい詰まっている場所です。今年、愛知芸術文化センターも25周年を迎えます。大先輩には敵いませんが、皆さんとともに、思い出を作っていけたら嬉しいです。



広報・マーケティンググループ：小出 充樹

愛知芸術文化センター
情報誌 AAC

通巻91 2017年3月号

発行：愛知県芸術劇場
(公益財団法人 愛知県文化振興事業団)
印刷：駒田印刷株式会社
デザイン：江利山浩二(KINGS ROAD)
編集：小島祐未子(家鴨の編集舎)



FLOOR GUIDE

開扉：9:00 休館日：第1・第3月曜日(6月は毎週月曜日)、年末年始

- 総合案内
- レストラン
- 喫茶店
- 公衆電話
- AED
- やさしいトイレ
- 授乳室
- トイレ
- 車いす貸出
- 連絡通路有

12F アートスペースA~H
屋外展示スペース

(11F) 展望回廊

10F 美術館(所蔵品・企画展示室)
屋外展示スペース
ミュージアムショップ

(9F)

8F 美術館(ギャラリー)A~J

(7F)
6F 回遊歩廊
(5F)

4F コンサートホール

(3F)

2F 大ホール

1F アートライブラリー

B1 小ホール 改修工事中
防災センター

B2 アートプラザ アートスペースX
リハーサル室

B3 B4 B5 駐車場(アートパーク東海)

INFORMATION



愛知芸術文化センター改修工事に伴い、各施設を下記スケジュールにて休館いたします。ご不便をおかけしますが、今後も安心して快適にご利用いただくための工事ですので、ご理解とご協力をお願いします。

	2016年	2017年	2018年	2019年
小ホール	2016.11.1~2017.10.13 (11.5か月)			
コンサートホール		2017.8.1~2018.11.25 (16か月)		
大ホール 大リハーサル室/中リハーサル室			2018.4.1~2019.4.22 (13か月)	
美術館ギャラリー(8階)			2017.11.28~2018.11.25 (12か月)	
美術館(10階)			2017.11.20~2019.3.31 (16.5か月)	
アートスペース(12階)		2017.11.28~2018.7.22 (8か月)		

主催公演
チケットの
主な取扱先

◎愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス

<http://www.aac.pref.aichi.jp>

※ご利用には、愛知県芸術劇場メンバーズへの登録(無料)が必要です。

※団体割引、車椅子
席等については劇
場へお問い合わせ
ください。

◎愛知芸術文化センター地下2階プレイガイド

☎052-972-0430 (月曜定休/祝休日の場合、翌平日)

◎チケットぴあ、アイチケット、名鉄ホールチケットセンター、ほか
※公演によって窓口は異なります。



アクセス

[公共交通機関]

- ・名古屋市営地下鉄東山線または名鉄線「栄」駅
下車 徒歩5分
- ・名鉄瀬戸線「栄町」駅下車 徒歩5分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

[自動車]

名古屋高速東新町出口から3分

[駐車場]

有料駐車場「アートパーク東海」
(愛知芸術文化センター地下3・4・5階 約500台)



愛知芸術文化センター
AICHI ARTS CENTER
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
TEL(052)971-5511(代表)
<http://www.aac.pref.aichi.jp>



お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ

TEL:052-955-5506(直通) FAX:052-971-5541 e-mail:mkt@aaf.or.jp

愛知県芸術劇場メンバーズ 登録無料

愛知県芸術劇場
メンバーズって、
なに?

愛知県芸術劇場が主催する公演のチケットを便利にお求めいただけるサービスです。
インターネットで、全国どこからでも、購入可能!
チケットの発売や公演の最新情報をメルマガでお知らせします。

どんないいことが
あるの?

- オンライン
チケット
サービス 24時間、インターネットで
チケットが買える!
- 先行発売 劇場主催公演のチケットが
いち早く買える、
先行発売を実施!(一部公演を除く)

- 買い忘れ
なし チケット発売直前には
お知らせメールが届くので、
買い忘れも回避。
- クレジット
カードOK インターネットならお支払いは、
クレジットカード決済もOK。
(センター内プレイガイドはカード払い不可)

- 引取りも
便利 チケットの引取りは、
全国のセブン-イレブンか
センター内プレイガイドにて。
- ポストに
お届け ご希望の方には、主催公演の
チラシや愛知芸術文化センター
情報誌「AAC」をお届けします。

登録するには?



☆チケットの取扱いは、愛知県芸術劇場の主催公演のみです(一部公演を除く)。会場が愛知県芸術劇場でも、チケットの取扱いのない公演がございます。